

200号記念



数字の中の写真は 50 年間の議会だよりの表紙です

RifuTownassembly

200号記念特集

- へえ〜こうなってるんだ！議会マツパ……………2
- 若者と座談会 「利府ってちよいといいよね！」……………4
- 議会フロア探検……………5
- 議会だよりの 50 年の歩み……………6

12月定例会

- 議会報告会……………10
- 町内12か所で開催
- 補正予算……………14
- クマ対策に1137万円
- いきいき活動……………24
- 楽しく多世代が交流！「AOYAMA 地域食堂」を紹介

りふー

議会だよりの

みんなの声を届けるまちづくりへ！
 議会 1年間の様子



こういう課題があるよ！

私はこれを提案します！！

解決に向けて提案しよう！

一般質問

補正予算

12月定例会

年度の途中に町が
 増やした予算・減らした予算を
 チェック！！

予算の見直し

議員全員協議会

議会だより
 発行！

ホームページ
 広報を確認してね！

みんな集まらん～

え～！
 先にはるの～？

議会だより
 発行！

常任委員会
 政策提言に向けて
 調査を開始

議会を見てかたいかなー

定例会には
 議事録が載るし
 YouTubeで
 見れるんだ！

総務企画・産業建設
 教育福祉の委員会に
 分かれてるんだ。

常任委員会
 って何？

2年後の政策提言に
 向けて調査研究しているよ！

他のまちの
 まちづくりを
 参考にしようぞ！

政策立案
 システムを
 採用しようぞ！！

このマップの文字とイラストは
 3人の手書きです。



下山さん 金野さん 須田さん

請願・陳情



（うーん、どうも）



常任委員会
調査、継続

補正
予算

予算の
見直し



年度の途中に町が
増やした予算、減らした予算を
チェック！！

常任委員会

議会だより
発行！



議員全員協議会

議会だより
発行！



前年度に町が使った
お金の使い道をチェック！！

決算
（前年度分）

カーン...

おわい

いいんやない

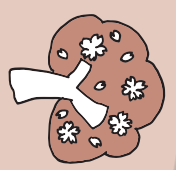
議会

こんなことを
したいんだけど...



次年度に町が使った
お金の使い道をチェック！！

議員全員協議会



「あ、
議員さん、
話し合おうんだ？」

「いろいろ考えを
持て入れたら、
提案で話し合いた
い代表で話し合いた。」



「住民の代表が、
議員になって
みんなが納得得
てきる決定を
目指すんだね。」

議員は住民の代表だ！



「議員みんなと話し合
うっていいんだ〜」

登場する
議員のおぼさん



利府ってちよいといいよね！

若者が語る利府町の魅力！

創刊200号を記念し、これからの利府を担う若者と議会広報常任委員が「座談会を行いました。参加してくれたのは、利府育ちで「学生まちおこし協力隊マチトリンク」として活動する大学生のお2人。「利府町への想い」を語っていただきました。

都会すぎず田舎すぎない 住み心地

—今年で大学を卒業されるお2人ですが、今後も利府町に？

松浦さん：配属次第ですが、なるべく残りたいです。同級生も半分くらいは地元に住みます。

—若い人が残ってくれるのは嬉しいですね。理由はどこにあると思いますか？

松浦さん：すごく都会でも田舎でもなく、いい感じで発展

している点でしょうか。住み心地が良い環境が整っているからだと思います。

小野寺さん：仙台も近く、ある程度お店も自然もある。生活しやすいので、みんなよく「ちよいといいい」と言っています。県外から戻ってくる友人もいますし、私もこのまま利府に残りたいですね。

人とのつながりがあるから 魅力がある

—人との関わりはどうですか。

松浦さん：「ハラスカまつり」や「マチトリンク」の活動を通じて、地元の人の温かさに助けられています。人との距離が近く、コミュニティがあるのが利府の良いところだと思います。



小野 まさこさん

松浦 さん

小野寺さん：地域の人から「手伝ってくれてありがとう」と言われることが多く、つながりを大切にしたいと感じます。大学の実習で「規模の大きい街」と「小さい街」へ行きそれぞれのチームで討論をしました。どちらにもメリット・デメリットがありました。利府はその両方の良いところを兼ね備えています。少し発展してきたからこそ実現できた「利便性もコミュニティも

住みやすさと
人の温かさと
その両方が
ある町です！

あるまち」。そこが魅力だと感じます。

利府といえば「コレ」を生み出した

—今後の展望を聞かせてください。

松浦さん：駅を中心に、住民同士の交流や町への関心につながるイベントを企画したい

ご協力
ありがとうございます。
ございました。



若者の町への
想いを受け止めて
私たちが
がんばります！

と考えています。
小野寺さん：利府といえば「コレ」というものをみんなで生み出していきたいです。また、活動を次の世代につなげていきたいです。
—ありがとうございます。これからも若い力で利府町を盛り上げてくれることを期待しています。

200号記念
座談会



利府町が大好き！と熱い想いを語ります

☆ 議会700探検

りふ議会だより200号の編集に参加してくれた
須田さんと今野さんが議会棟を探検しました！

シヤンテリア
カワサキの花なん
だった！



キラキラ
してる！

映画館
みたい！



今野さん



須田さん

敷か
なで少し
緊張します！

全員の議員会室

全員の議員が集まり、意見交換
や町からの説明を聞く部屋です。

議員全員で話し
合うことはとても
大事なことです！
思います！

議員以外の
人も入れるん
だった！



議長席

議長は会議を進め、発言の順番やルー
ルを守らせる役目を担っています！

議長席は議長
を見渡せるよう
に一番高くなっ
てるんだね！

それ以外席の席

町長や役場の職員の座る席。
議員の質問に答え、提案内容を説明します。

松浦さん



校長室
みたい！



議員席

議員のみなさん
まちのために
がんばって
ください！



1号聴席

議会の様子を見ることができます。
車いす専用席や難聴者用の機械もあります！

正副議長室

50年の歩み



「りふ議会だより」は、今回記念すべき200号の発行に至りました。昭和51年3月定例会を創刊号として以来、50年間にわたり議会の審議の状況を分かりやすく町民の皆様にお伝えできるように努めてまいりました。

創刊号発行当時、10,000人ほどだった人口は現在約36,000人となり町は大きな発展を遂げました。急激な人口の増加に伴い公共施設や学校建設などの社会インフラ整備が急がれた50年でしたが、各号の「りふ議会だより」から、その審議内容をご紹介します。(掲載にあたり、原文の一部を整理・省略しています)

ハケ森団地、沢乙団地(しらかし台)

創刊号 昭和51年
3月定例会

問 沢乙住宅団地開発の説明を受けたが、事業主体は県、公団のどちらか。

答 事業主体は公団である。

問 約四町歩余りの農地が買収されるとあり地権者が不安になっている。

答 農地の買収は、後継者の意欲を聞き折衝する。

33号 昭和59年
3月定例会

問 しらかし台団地は昨年2度にわたり販売したが売れていない。

答 民間の宅地販売と違い厳しい販売条件もある。販売方法、条件等の改善を要請する。

35号 昭和59年
9月定例会

問 建売住宅に地元業者を参加させられないか。

答 地元業者の参加は望ましいが、モデルハウスの展示など資本金がない。土地購入者に呼びかける。

社会体育施設



中央公園多目的運動場

18号 昭和55年
6月定例会

問 学校施設の開放と館のミニグラウンドでは、住民の要請に応えられない。社会体育施設の建設を急げ。

答 永年の懸案である。将来町の人口増加に伴い、総合体育センターや中央グラウンドをセットで開発すべきと思う。早急に実現したい。

23号 昭和56年
9月定例会

問 基本計画は出来ているが、実施計画と工事の進捗状況はどうか。

答 実施計画はまだ立っていない。建設順は、体育館、公民館、野球場の順で完成まで5～6年を要する。

34号 昭和59年
6月定例会

利府町総合体育館条例が制定されました。



議会だより

駅前開発

12号 昭和54年 12月定例会
問 駅前開発を早急に推進せよ。
答 十分な開発構想を練り着手すべきで、時間をかけ悔いのない開発を考慮中だ。

27号 昭和57年 9月定例会
問 地権者や関係者の意見を聞き、計画の一部変更をする考えはないか。
答 説明会やアンケート調査で関係者の意向を大体つかめた。今後の進め方は後日説明したい。

35号 昭和59年 9月定例会
問 人口4万人での事業計画だが、公共施設整備等で現住民の負担増にならないか。
答 人口4万人の到達目標は昭和75年とみている。多少の負担はお願いしたい。換地は現住所に近い所にしたい。



区画整理事業が行われている利府駅前

中央公民館



社会教育推進の場、昭和27年建設の利府町公民館

37号 昭和60年 3月定例会
問 基本計画では玄破沢（現在の中央公園多目的運動場付近）が建設予定地となっている。交通の便からも駅前開発の中に用地を確保し、建設してほしい。

答 一部住民から役場周辺が良いとの声がある。玄破沢に限定せずに幅広く検討したい。

43号 昭和61年 9月定例会
問 公民館構想を具体化するために場所、機能を検討する必要があるのでは。

答 中央公民館構想を審議するため、「（仮）公共施設整備委員会」を設置したい。

53号 平成元年 3月定例会
問 住民要求度の一番高い施設である。一日も早く建て替える必要がある。
答 中央公民館の建設は、（仮）ふるさと創生館と複合的な建物として検討中である。

54号 平成元年 6月定例会
問 ふるさと創生館の建設構想が示されたが問題がある。中央公民館建設構想には、公民館、文化会館、歴史資料館、図書館があった。ふるさと創生館は、この考えからだいぶかけ離れている。
答 中途半端な計画と言われても、やむを得ない。複合施設で幅広く町民の要望に応えていく。

60号 平成2年 12月定例会
十符の里プラザ開館で条例が制定されました。
平成3年春 開館

コミュニティセンターとの合築問題が問われた利府駅



町営住宅の建て替え

31号

昭和58年
9月定例会

問 町営住宅は、昭和38年に堀川住宅、39年に石田住宅、40年に飯土井住宅、42年に八幡崎住宅を建設しており、耐用年数に到達している。建て替える計画はないか。

答 いつまでも古い住宅とは考えていない。雇用促進事業団が2棟80世帯の住宅を計画中で、こちらに移ってもらう考えである。



町営住宅の早期建設を
(写真＝町営八幡崎住宅)

67号

平成4年
9月定例会

問 町営住宅の修繕費が年々増えている。昨年、対策費を検討すると言ったが協議したのか。

答 当分、修繕をしながら現状のままでいく。将来、1か所に集約し質の高い町営住宅を考えたい。

184号

令和3年12月

全員協議会にて、堀川住宅、石田住宅、八幡崎住宅を集約して建て替える町営住宅建替計画策定業務事業の説明がありました。

197号

令和7年
3月定例会

八幡崎住宅地内に集約して建設する町営住宅の事業者が選定されました。

防犯灯の設置、維持管理の公費負担



耐用年数が迫っている防犯灯

19号

昭和55年
9月定例会

問 現在、設置費は、町と部落会が折半。電気料及び維持管理費は部落会であり、地元部落会では大きな負担となっている。防犯灯は、公共性から当然、公費負担すべきだ。

答 町内は、範囲が広いので難しい。設置要綱もあるので当分の間、地元で負担してもらいたい。

168号

平成29年
12月定例会

問 防犯灯は、町内会が設置している。町は修繕費を助成すべきだ。

答 エバーライトの耐用年数が15年で、あと5年残っているが製造中止なのでLEDへの交換となる。今後、大量の交換が必要となるので国の補助を調査する。

171号

平成30年
9月定例会

問 2018、2019年に整備したエバーライト防犯灯の耐用年数が間もなく切れる。対策は。

答 数年後には、大量交換となる。近隣自治体ではリース方式に変更しており、現在調査している。

182号

令和3年
6月定例会

防犯灯等賃貸借事業

町内会が管理する防犯灯がLED照明へ変更されました。

町営墓地

37号

昭和60年
3月定例会

問 新しい住民が増加している。町が公営墓地を造り提供すべきではないか。

答 人口が増えているが、若い世帯が多いので今必要な人はそれ程でもない。将来の必要性は分かるが、今すぐはできない。

52号

昭和63年
12月定例会

問 宗派にとらわれず墓地を求めたい町民のために、最初から大きな数を考えずに50から100区画で実現できないか。

答 当分は、お寺の墓で対応が可能である。

163号

平成28年
9月定例会

町営たてやま霊園が完成しました。

区画墓地500区画、集合墓地50基、愛がん動物霊園1施設（合葬形式）

文化複合施設

- 67号 平成4年 9月定例会 **問** 住民から図書館建設の要望がある。
答 必要性は十分認めている。基本計画の主要事項の一つだ。
 現在、学校建設やその他の公共施設の整備計画がめじろ押しで、それらと調整を図りながら計画したい。
- 148号 平成24年 12月定例会 **問** 9月に利府町文化複合施設整備検討委員会が設置された。施設概要、建設時期、場所、費用への町長の考えは。
答 各文化施設を別々に建設すると建設費が膨大となるため、文化複合施設とした。場所は町の中心部を選定したい。
- 169号 平成30年 3月定例会 **問** 造成工事の完了はいつか。また、建設の発注時期は。
答 造成工事は、平成31年3月までの予定で建物の発注時期は、現在埋設しているガスパ管を移設後に行う。
- 179号 令和2年 9月定例会 **問** 開館の準備作業や書籍などの購入で約2億円計上している。高額の契約なので一般競争入札がふさわしいのでないか。
答 指定管理者と契約することで、作業の効率化が図れると判断した。



旧役場庁舎

役場庁舎の建て替え

- 60号 平成2年 12月定例会 **問** 急激な人口増に伴い、行政サービスの窓口としての庁舎が手狭になっている。建て替え計画への、町長の考えを伺う。
答 財源の半分を起債にたよれば平成8年から9年になる。場所は、現在の敷地内を考えている。
- 64号 平成3年 12月定例会 **問** 庁舎は、狭くプレハブで対応している。庁舎建設は必要だ。学識経験者、住民代表を含めた建設委員会を設置したらどうか。
答 建設委員会を設置するとすれば公共施設整備委員会を中心にし、それを包含した形でいく。

- 106号 平成14年 6月定例会 7月15日役場庁舎を移転することに伴い役場の位置を定める条例が改正されました。

デマンド交通システム

- 159号 平成27年 9月定例会 **問** 路線バスでは対応できない交通弱者が増えている。デマンド交通システムの研究、導入はできないか。
答 地域公共交通会議に諮り、調査研究を進める。
- 問** 住民協働で、こうしたシステムを構築できないか。
答 法改正があり、デマンドの運営主体が町内会や地域の団体でもできるようになった。



町民の望む運用を

- 164号 平成28年 12月定例会 総務財務常任委員会でデマンド交通の政策提言を町長に提出しました。

- 186号 令和4年 6月定例会 **問** デマンド交通システムの構築が必要だ。町としての取り組みは。
答 検討したが既存の業者との調整があり導入は困難である。
問 高齢者対策の一つである。
答 地域住民の意見を取り入れ新しいものを作っていきたい。

議会報告会

開かれた議会を目指して



各地区住民との意見交換

利府町議会では、「顔が見える議会」、「開かれた議会」を目指し、議会で審議したことや、議会の取り組みなどを町民の皆様に直接説明すると同時に、議会や町に対する貴重なご意見を伺う場として議会報告会を開催してきました。

今回は、令和7年9月19日～21日の3日間、全議員が4班に分かれ、町内12会場で105人の住民の方に参加していただき実施しました。「議会だより」をもとに令和7年度予算の概要説明と「まちづくり」と「文化交流センター（リフノス）第2期工事」などをテーマに意見交換しました。



伊藤 亨さん



議員の真剣な話が聞けてよかった。もう少し話がしたかった点が心残りです。



鈴木 寛さん



時間が短いと感じた。議員と何度かこのように会うことで本音を話せるようになると思う。



阿部安孝さん



地域の声を直接聞いて、より良いまちづくりに活かしてください。



木村 均さん



意見交換が活発に行えたと思う。このような機会は大切なので今後も定期的に関催してもらいたいです。

議会説明会実施場所と参加数

館 公民館	13人
神谷沢コミュニティセンター	7人
春日二部 集会所	9人
菅谷公民館	6人
しらかし台 夢民館	9人
赤沼公民館	8人
森の郷	11人
葉山第2集会所	11人
須賀集会所	6人
菅谷台三丁目集会所	6人
青葉台二丁目集会所	13人
総合体育館サブ棟講習室	6人

町への主な意見

●文化交流センター(リフノス)第2期整備

- リフノス第2期整備は、建設コストの高騰、維持管理費負担などを鑑み、慎重に検討すべき。
- 事業内容や経費など詳細な内容を明示してアンケートをするべきである。
- 大ホールの整備を進める前に、多目的ホール利用状況を検証してから議論を進めるべき。

●公共交通

- 公共交通会議に、実際利用している当事者（免許返納者、車で送迎している保護者など）を入れるべき。
- 町民バスをもっと充実させてほしい。町独自の利便性重視の路線系統設計をしたらどうか。
- バス停ベンチは散歩・高齢者の休憩の需要もあるので、全停留所整備を加速してほしい。

●m o b i の実証運行

- m o b i は公共交通が充実していない地域を優先すべきではないか。走っていない地域は乗り合いタクシーで補完してほしい。
- m o b i は、高齢者にはスマホ予約が難しい。改善できないか。また、岩切駅にも行けるようにしてほしい。

●旧役場の利活用

- 跡地は町の歴史と象徴性を持つ「町民の財産」との共通認識を堅持すべき。

●情報公開

- 役場へ問い合わせをしても「ホームページに記載している」と言われる。インターネットが使えない世代に配慮してほしい。



●まちづくり

- 外注による計画作成が多い様に思うが、基本は、役場職員が自ら行うべきではないか。
- 土日のイオン付近の交通渋滞を改善できないか。
- 行政の傾聴が不足している、各地区で巡回説明など双方向対話を強化してほしい。
- 草刈りが高齢化により困難になってきている。町で何とかしてほしい。

●防災・安全対策

- イノシシの被害が増加や熊の目撃も増えている。町としてもっと力を入れて対応してほしい。
- 通学路になっている県道に、一部歩道がなくて危険な箇所がある。
- 町の総合防災訓練に、災害弱者への対応の検討をしてほしい。

●教育

- 教育長が一年も不在と聞いた。現場対応の停滞を懸念している。速やかな選定・任命をお願いしたい。
- 利府二小の建て替えに伴った学区の変更の有無などの説明がほしい。
- 町民プールの老朽化が懸念される。学校授業で使用するなら大規模改修してもよいのでは。

●水道事業

- 水道事業の包括委託で役場の技術者が育たないのではないか。技術者は町で育てるべき。

●町内会運営

- 防犯灯の管理が町内会ごとになっている。特に世帯数が少ない町内会は負担が大きいため、町で考えてもらいたい。
- 宅地造成が進み住民が増え町内会が拡大してきている。町内会の役割「現状、問題、今後」の検討会を設けてはどうか。



※いただいた課題や意見は今後、委員会で精査して対応していきます。

指 定
管 理
議案 69
Number

利府町文化交流センター 「リフノス」 指定管理者が決定

引き続き「利府みらいクリエイティブ」を指定



さらに住民と協働した施設づくりを

令和8年4月1日から5年間、文化交流センター「リフノス」の指定管理者として「利府みらいクリエイティブ」を指定することへ議決を求められました。

利府みらいクリエイティブ 構成員

丸善雄松堂株式会社
アクティオ株式会社
株式会社東急コミュニティー

質 疑

問 今回新たに締結される協定書に、これまで町民や利用者から寄せられた改善要望などどのようなに盛り込まれるのか。

答 町民から出ている具体的な意見に適切に取り組み改善していきたい。

問 令和6年度までの評価項目に、平等利用の数値目標の設定がなかった。

答 リフノスに設置している意見箱やアンケート調査を基に、令和8年度以降は平等利用の項目を設けていきたい。

問 新たな協定書には住民サービスの向上と利用促進、平等利用の確保という部分が盛り込まれるべきと考えるがどうか。

答 協定書に盛り込んでいきたい。

問 協定書の骨子案ができた際には、事前に議会へ提示してほしい。

答 機会を捉えて示していきたい。

議 会 N E W S

会 事 議 人

各種委員会・委員長・副委員長

鈴木忠美議員が健康上の都合で議長を辞職したことに伴い、議長選挙が行われ、新たに永野渉議員が議長に選出されました。



議長 永野 渉

永野渉議員が議長に選出されたことに伴い、各種委員会の委員長・副委員長が新たに選出されました。



総務企画常任委員会
委員長
鈴木 忠美



議会運営委員会
副委員長
小渕 洋一郎



議会活性化特別委員会
副委員長
高木 綾子

診療報酬・介護報酬の引上げと 医療機関や介護施設の 経営改善を求める請願書

【請願者】

宮城県民主医療機関連合会 会長 舩山由有子
紹介議員 金萬 文雄

- 医療機関は人材不足、物価高騰など複合的な問題を抱えています。次の事項を国会及び関係行政庁に対し意見書を提出してくださいさるよう請願します。
- 全額公費による追加の賃上げ支援策の実行
 - 診療報酬を抜本的に引き上げる臨時改定を実施受療権・介護を受ける権利を守るため負担軽減策も実施

請願内容・要旨

- 訪問介護費の引下げを撤回し、全ての介護事業所を対象に、介護報酬を抜本的に引き上げる臨時改定を実施
- この請願は本会議で採択されました。



意見書の提出

診療報酬・介護報酬の引上げと 医療機関や介護施設の経営改善 を求める意見書の提出

金萬文雄議員が提出者となり、議長名で国に対し次の内容の意見書を提出する議案が提出され可決されました。

医療機関・介護施設等が物価高騰や人材確保に対応可能となる財源を確保できるよう、診療報酬・介護報酬の抜本的引上げを行うことを要望する。

再審法の改正を求める 意見書の提出

【請願者】

日本国民救済会塩釜支部 支部長 阿部 長喜
紹介議員 土村 秀俊

請願内容・要旨

身に覚えのない罪で服役させられ場合によっては命まで奪われる冤罪ほど恐ろしいものはありません。再審制度はそのような不幸な冤罪者を救済するためのものです。冤罪犠牲者を早期に救済する上で、次の3点の法改正、法整備が急務です。

- 再審のための全ての証拠を開示
- 再審開始決定に対する検察の不服申立てを禁止
- 公正な再審手続きの整備

委員長報告

この請願は、総務企画常任委員会に令和7年9月定例会で付託されました。委員会の審査結果は次のとおりです。

【審査の経過】
令和7年12月
委員間討議、討論及び

採決
請願調査報告書の作成
【委員間討議の概要】
冤罪は、国家による最大の人権侵害である。無実の者を迅速に救済することは刑事司法の最重要課題である。しかし、現行の刑事訴訟法の再審規定は証拠開示や審理手続きが不十分であることから早急な法改正が求められている。

【結論】
委員会では全会一致で採決すべきものとなりました。

意見書の提出

刑事訴訟法の 再審法の改正を求める 意見書の提出

総務企画常任委員長が提出者となり、議長名で国に対し次の内容の意見書を提出する議案が提出され可決されました。

- 再審に際し審査で集めた検察官の手持ち証拠を全面開示すること
- 再審開始決定に対する検察官の不服申し立てを禁止すること
- 再審における手続きを整備すること

万円計上

令和8年度 一般会計補正予算

6億2321万円を追加し

総額 **167億円**

令和7年度一般会計に6億2321万円を追加し総額167億639万円とするものです。

■一般会計の主な補正予算項目

債務負担行為の補正（追加）

事業名	期間	限度額	理由
総合情報システム貸借事業	令和8年度から令和10年度まで	2億7462万円	標準化に対応した基幹系システムの賃貸借を行うため
町民バスキャッシュレス決済支援事業	令和8年度	令和8年度予算の範囲内	町民バス運賃のキャッシュレス決済を導入するため
館山公園駐車場整備事業	令和8年度	1200万円	館山公園の駐車場を増設するため

歳入（収入）

項目	補正額	理由
児童福祉費補助金	+247万円	子ども・子育て支援交付金産後ケア事業の利用者増等に伴い国・県からの補助金の増額
地域公共交通利活用促進事業費補助金	+250万円	利府町版モビが県の補助金の対象事業となったことから増額
財政調整基金繰入金	+3億458万円	財源調整のため増額

歳出（支出）

項目	補正額	理由
クマ生息状況ドローン調査業務委託料	+214万円	クマ目撃情報の箇所を調査し対策を講じるため計上
町農作物有害鳥獣被害対策協議会負担金	+260万円	緊急的なクマ対策として協議会が必要となる経費を補助するため増額
緑地法面高木伐採等業務委託料等	+295万円	クマ被害未然対策として町管理の緑地等の高木の伐採を行うため増額等
クマよけ鈴購入	+360万円	クマよけ鈴を購入し児童・生徒等へ配布するため増額
学校給食費賄い材料費	+1291万円	材料費の高騰に伴い増額



看板付近は要警戒（菅谷台の県道脇の歩道）

問

配布対象は。

答 令和8年1月以降になると考えている。

されるのか。

問 小・中学生にクマよけ鈴を配布するとの説明である。入手が困難と言われているがいつ頃納入されるのか。

学校教育費消耗品
クマよけ鈴購入

歳出
360万円追加

答

工夫していきたい。

問 配布する際、扱い方の説明やクマ対応のチラシも配布してはどうか。

答 児童生徒と教職員、また、区外就学者にも配布したいと考えている。



クマ対策に1137

クマ生息状況ドローン調査業務委託料

歳出
214万円追加

問 調査内容は。

答 クマの目撃情報から選定した場所に、サーモカメラを搭載したドローンを飛行させる。体温を感知し映像を撮影する。映像の解析結果を基に対策を立案する。

問 実施回数と調査する時間帯は。

答 3回を予定している。時間は、クマの活動が活発となる日の出から2時間程度を考えている。

問 調査でクマの生息位置が分かるのか疑問である。常時監視できる定点

カメラを増やしたほうが良いのではないか。

答 成果は未知数だが、生息状況を把握できていない。有益な調査になると考えている。

問 調査した後の対策は。

答 電気柵・防除威嚇機・警告看板の設置を考えている。



債務負担行為
令和8年度
予算の範囲内

町民バスキャッシュレス決済

問 決済方法の検討状況は。

答 現在想定しているのはペイペイによるキャッシュレス決済である。

歳出
224万円増

産後ケア事業

問 増額の要因は。

答 利用者が増えたことである。また、双子や三つ子などの支援を必要とする人が多かったこともある。

問 産後ケアにはさまざまなサービス項目がある。ニーズの多い項目は。

答 宿泊型、デイサービス型、訪問型の3種類ある。利用が多いのは通所型の6時間未満のサービスである。

問 ニーズの多い項目の要因の分析を行っているのか。

答 県内で統一したサービスの検討がなされている。動向を注視したい。

債務負担行為
1200万円追加

館山公園駐車場整備事業

問 設置場所は。

答 館山公園を登り切った上の辺りを予定している。

問 整備する台数は。

答 設計業務を行う中で設定したい。



公園近くに駐車場を増設します

議 案	郷 右 近 佑 悟	阿 部 彦 忠	須 田 聡 宏	高 木 綾 子	皆 川 祐 治	鈴 木 晴 子	金 萬 文 雄	土 村 秀 俊	浅 川 紀 明	今 野 隆 之	小 淵 洋 一 郎	高 久 時 男	伊 藤 司	羽 川 喜 富	永 野 涉	鈴 木 忠 美	結 果 (賛成: 反対)
報 告 第 9 号	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
承 認 第 2 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	承認(15:0)
議 案 第 55 号 ~ 72 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決(15:0)
請 願 2 ~ 3 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決(15:0)
発 議 3 ~ 4 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決(15:0)

令和7年12月定例会提案議案 22件(報告1件、承認1件、議案18件 請願2件)

報告9 専決処分

利府第二おおぞら幼稚園駐車場内において、公用車の車両がフェンスに接触し損害を与えたため、町の負担割合が10割の内容で相手方と和解したことから、専決処分したことを報告。

承認2 専決処分

しらかし台中学校の校舎内地下ピットで、灯油配管からの漏油と、水道管からの漏水が発生し、復旧等に係る経費を緊急執行したため、専決処分したことを報告し、承認を求める。

議案55 乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

乳児等通園支援事業、通称「こども誰でも通園制度」が市町村の認可事業に位置付けられたことから、当該事業の設備及び運営に関する基準を定める。

議案56 特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例

新たに乳児等のための支援給付制度が開始されることから、当該事業の運営に関する基準を定める。

議案57 職員の給与に関する条例の一部改正

一般職 給料月額を平均3.3%引き上げ
期末・勤勉手当
0.05月引き上げ

議案58 議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例及び特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部改正

特別職 給料月額
町長24000円増
副町長18000円増
教育長16000円増
議会議員、町長、副町長及び教育長の期末手当
0.05月引き上げ

議案59 利府町児童厚生施設条例の一部改正

松島海岸インターチェンジの改修工事に伴い、宮城県道路公社に用地を売却するため、赤沼児童遊園を廃止するため条例の改正。

議案60 利府町議会議員及び利府町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正

公職選挙法施行令の一部を改正する政令が施行されたことに伴い、「選挙運動用ビラ」及び「選挙運動用ポスター」の作成に係る費用の公費負担限度額が引き上げられたため改正。

議案61 令和7年度一般会計補正予算

6億2321万1000円を追加し、総額を167億639万7000円とする。

14、15ページに掲載

議案62 令和7年度国民健康保険特別会計補正予算

580万1000円を追加し、総額を31億7362万円とする。

議案63 令和7年度介護保険特別会計補正予算

310万8000円を追加し、総額を27億4108万8000円とする。

議案64 令和7年度水道事業会計補正予算

収益的支出を125万2000円増額。資本的収入を500万円、資本的支出を197万1000円、それぞれ増額。

議案65 令和7年度下水道事業会計補正予算

収益的支出を69万3000円増額。資本的支出を77万3000円増額。

議案66 製造請負契約の締結

町立菅谷台保育所の給食調理業務委託契約を締結する。

議案67 工事請負変更契約の締結

新中堀新川崎線舗装工事の契約の変更。

議案68 指定管理者の指定

令和8年4月1日から3年間、コミュニティセンターの指定管理者として、特定非営利活動法人利府町観光協会に指定する。

議案69 指定管理者の指定

令和8年4月1日から5年間、文化交流センターの指定管理者として、利府みらいクリエイティブに指定する。

議案70 宮城県市町村職員退職手当組合規約の変更

議案71 町道の路線認定

22路線を町道として認定する。

議案72 町道の路線廃止

土地区画整理事業において、新たに「金沢団地P5-1号線」を整備したため、「神谷沢団地12号線」を廃止する。

請願2号 発議3号

刑事訴訟法の再審規定の改正を求める意見書の提出。

13ページに掲載

請願3号 発議4号

診療報酬及び介護報酬の抜本的引き上げ等による労働者の処遇改善と医療機関や介護施設の経営改善を求める意見書の提出。

13ページに掲載

一般質問

我が町政を問う

一般質問とは議員が町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針を聞き、疑問点を質することです。本町議会の質問時間は、1人30分以内で、答弁時間は含みません。

浅川 紀明 P18

- スポーツ団体への支援
- 志教育の名称見直しとAI活用

須田 聡宏 P18

- キャリアシップ事業への取り組み
- 若者の起業推進

郷右近 佑悟 P19

- 利府中学校弓道場の一般開放
- 帯状疱疹ワクチン接種への取り組み

小渕 洋一郎 P19

- 防犯灯の管理体制のあり方
- 教育長の不在の現状と今後の選任

金萬 文雄 P20

- 利府街道の渋滞緩和対策
- DX推進への取り組み

鈴木 晴子 P20

- クマ対策
- 防犯カメラ設置への補助

土村 秀俊 P21

- リフノスの運営評価と課題への対応
- 地球温暖化対策

阿部 彦忠 P21

- 「スポーツのまち利府」への取り組み
- 公金の管理体制整備

質問と答弁を要約した内容は、18ページから21ページです。なお、全文記録(議事録)は3月下旬に利府町議会ホームページに掲載しますのでご覧ください



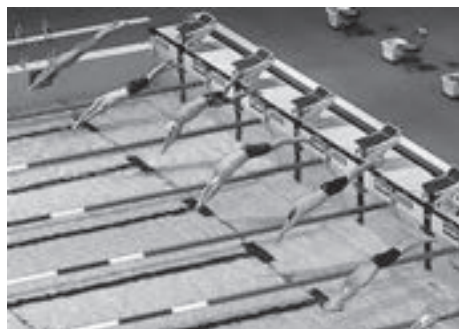


浅川 紀明



質問者の動画が見られます

スポーツ団体への支援



スポーツ振興に更なる積極的支援を

問 スポーツ団体へのさらなる支援を

答 より一層連携を密にする

問 町と教育委員会が後援した水泳競技会の町内の参加者が5人と少なかった。周知不足も要因であったと考える。町として積極的な支援を検討しては。

答 今後、スポーツ事業に特化したSNS発信などで支援していきたい。

問 町内各スポーツ団体への後援・支援を今後どのように進めるのか。

教育行政

問 志教育の名称を分かりやすい言葉に

答 再体系化は考えていない

問 志教育の5つのシップの名称を平易な言葉で再体系化しては。

答 5つのシップの名称は根づいており、再体系化は考えていない。

問 児童の思考発達を阻害し得るAI活用の制限や許容範囲のあり方は。

答 これまでも施設利用料の減免、補助金の交付、広報紙でのPR支援を行っている。今後もより一層連携を密にしていく。

問 教育委員会としてのさらなる支援は。

答 学校での案内チラシ、掲示等は考えられるが、最終的には校長の判断となる。

答 教育は家庭の協力があって成り立つものと捉えている。協力をお願いしていきたい。



須田 聡宏



質問者の動画が見られます

キャリアシップ事業



地域で育む子どもたちの未来

問 受け入れ事業者の支援策はあるか

答 ホームページで紹介している

問 本町では中学2年生を対象とした職場体験学習を5日間の期間で実施している。文科省では5日間を推奨しているが、仙台市では学校ごとに3日から5日間で開催されている。

答 町のホームページで事業所を紹介し、感謝状やステッカー、卓上立てを贈呈している。

問 生徒が事業所へ向かう際の公共交通機関利用への支援はあるのか。

答 多くの事業所で5日間受け入れていただいている。

答 町民バスを利用する際には無料で乗車できる。生徒が通勤方法を考える機会と捉えている。

若者の起業推進

問 町内で起業体験できる場はあるか

答 tsumiki等で実施している

問 若者が起業体験できる場は町にあるか。

答 tsumikiで「いあきない市」「新・生業塾」を実施している。「こどもたち」も体験の場と捉えている。

問 tsumikiで小学生が模擬出店することはできるか。

答 直接利用で販売できるが、保護者の同伴、承諾が必要である。

問 町内の既存イベントに若者の出店枠を設けてはどうか。

答 町内ではさまざまなイベントが実施されている。イベントのコンセプトもあることから主催者との調整が必要となる。

一般質問



郷右近佑悟



質問者の動画が見られます

問 事故などのトラブルに備え、事前の取り決めが必要と考えるが。

答 町内在住か在勤の人が道具を持参し、複数人で利用することを想定している。

問 対象は町内在住者か。

答 令和8年1月から部活が行われない日曜日を開放する。

問 利府中学校弓道場の一般開放の検討状況は。

答 日曜日を一般開放する

問 弓道場の一般開放は

利府中学校弓道場



みんなが親しめる弓道へ

带状疱疹ワクチン接種

問 自己負担額の減額を

答 二市三町と協議していく

問 塩釜管内の二市三町は、他自治体に比べて組換えワクチンの自己負担額が高額である。自己負担額を減額する考えは。

答 安全な利用を周知徹底していく。利用者の中に大人を含むようにするなど、利用要件を考えていく。

問 小学生や利府中学校以外の生徒からも弓道をやってみたいとの声を聞く。弓道部の地域移行を早急に進めてはどうか。

答 学校の意向を大事にし進めていきたい。

答 重要性が高いと考えている。周知を強化していく。

問 带状疱疹は早期の適切な治療が有効であると聞いている。周知を進めては。

答 必要がある。引き続き二市三町で協議していく。

答 B類疾病の定期接種に位置付けられており、予防接種法で接種費用の実費徴収が認められている。そのためワクチン価格相当額を自己負担額とした。減額は他の予防接種との公平性を考慮する必要がある。引き続き二市三町で協議していく。

一般質問



おぶちよういちろう



質問者の動画が見られます

答 契約の際、全ての町内会から承諾を得ており、現時点において維持管理

問 防犯灯は、令和4年度から10年間のリース契約を締結している。リース満了後は、町内会が維持管理する契約を町と交わしている。町内会には大きな負担である。

答 約480万円である。

問 町内会管理分の防犯灯の年間電気代は。

答 維持管理のあり方を検討する

問 契約満了後は町で管理できないか

防犯灯の管理



防犯灯は町管理で

答 経済情勢の変化や新たな防犯灯の開発などに注視し、維持管理のあり方を検討していく。

問 防犯灯の管理を直接行っている自治体もある。町内会が維持管理を限られた予算から捻出することとは、負担である。町で管理できないか。

答 は、町内会に実施したただくべき事項となっている。

答 早期の任命に向け取り組んでいる

問 教育長の任命予定は

教育長の不在

問 不在は、1年2か月続いている。任命権者として、任命する予定はあるか。

答 教育長は、本町の教育方針や子ども達の教育環境に大きな影響を与える重要な職務である。不在が続く現状は、保護者、小中学校関係者、教育委員会に心配をかけていると認識している。現在、早期の任命に向け全力で取り組んでいる。

問 利府第二小学校の移転の検討も不在のまま進めていくのか。

答 一日も早く新しい教育長を任命しなければならぬと重く責任を感じている。

問 長期間にわたる状態は、決して良いこととは思えないが。

答 一日も早く皆さんの負担とご苦労が報われる様に任命したい。



こん まん ふみ お
金 萬 文 雄



質問者の動画が見られます

利府街道の渋滞緩和



利府街道の渋滞解消は切実な住民の願い

問 新中堀新川崎線開通による効果は

答 渋滞緩和に繋がると捉えている

問 利府街道の渋滞緩和策の一つとして新中堀新川崎線が令和7年度末に完成予定である。効果の見込みは。

答 イオンモール新利府南館へ来店する50%の車がこの路線へ迂回すると推計している。この路線を岩切地区まで整備することで、さらなる渋滞緩和が期待できる。

DX推進

問 DX推進で住民サービスの变化は

答 オンライン申請を拡充する

問 DX推進により住民サービスの变化はあるのか。推進するにあたり、「誰一人取り残さない」ための情報格差対策は。

答 オンライン申請を拡充し、来庁を要しない手続きを段階的に拡大していく。デジタルに不慣れた人が不利益を被らないように、対面対応の質を維持し、スマホ教室や、スマホ講師派遣サービスなどを継続していく。

問 国はDX推進で、人件費削減を目標の一つに挙げている。業務効率化による窓口の縮小や閉鎖などが考えられるが。

答 人員削減や窓口の縮小は考えてない。職員が本来力を発揮すべき業務に一層注力できるようにしていく。

クマ対策



クマから住民を守る対策をさらに

問 クマ目撃情報を防災無線で発信を

答 緊急度が高い場合は使用を考えている

問 クマの目撃情報があった際、住民を守るという視点の情報発信体制はどうか。

答 パトロールのほか、SNSやホームページで発信している。

問 「防災無線で知らせてほしい」との声があるが。

答 緊急度が高い場合には使用を考えている。

問 クマが出没した付近の除草が必要ではないか。

防犯カメラ設置

問 県補助金

メニューの活用を

答 調査研究と検討を早急に実施

問 防犯カメラの設置費を自治体が補助する制度が全国的に広がっている。犯罪抑止や地域の安全のため、本町においても町内会や個人に対する助成制度を創設してはどうか。

答 プライバシーの保護、運用ルールの検討、録画データの管理責任など、多くの課題がある。先進事例や制度を調査研究し、実現の可否を判断したい。

問 国の対策パッケージにも緩衝帯の整備がある。検討してはどうか。

答 今後、国・県の動向を見ながら対応する。

問 12月補正予算で児童生徒へのクマよけ鈴の配布が計上された。高校生や高齢者等へも配布を検討してはどうか。

答 検討したい。

答 早急に調査研究・検討を進めたい。

一般質問



つちむら ひでとし
土村 秀俊



質問者の動画が見られます

リフノスの運営



令和8年度から2期目の指定管理が始まる

問 リフノスの※指定管理の評価は

答 質の高い事業運営がなされている

問 「リフノス」が開館して5年になる。管理運営を指定管理者に委託してきたが、町としてのどのように評価しているのか。

答 指定管理導入のメリットである各分野の専門知識やノウハウが生かされ、質の高い事業運営が行われている。成果は充分得られた。

地球温暖化対策

問 2030年までの取り組みは

答 省エネ家電や太陽光発電を進める

問 町が策定した地球温暖化対策実行計画のCO2削減目標の達成状況は。

答 2018年に策定した実行計画は公共施設を対象とし、2030年度までに26%の削減を目指した。2024年度に27・8%削減しており、達成している。

問 2030年までの5年間で、どのように取り組むのか。

答 目標達成に向けて省エネ家電への買換え促進や啓発活動、公共施設の太陽光発電設置等に取り組んでいく。

※指定管理者
公の施設の管理運営を自治体に代わって行う民間企業や団体のこと。

一般質問



あべ ひこただ
阿部 彦忠



質問者の動画が見られます

スポーツのまち利府



「スポーツのまち」の発展を

問 見るスポーツの今後の発展は

答 ラリーは全日本選手権を視野

問 見るスポーツは観光としての経済効果も期待される。今後どのように発展させるのか。

答 ラリーは、全日本や世界選手権大会の開催を視野に発展できればと考えている。スポーツ流鏑馬大会は町民主体の「うまうま祭」として生まれ変わった。町民協働のチャレンジを大切にし、町も応援していく。

問 健康増進に向け、幅広い年代が活動できるよう、公園や体育館設備の環境整備が必要では。

答 令和2年度にスポーツ施設長寿命化計画を策定した。利用者からの要望を取り入れながら、安心で安全な施設整備に努めていく。

公金の管理体制整備

問 新たな公金管理体制は

答 公金等取扱いマニュアルを策定した

問 令和6年度中に発生した公金着服によるコンプライアンス違反の事案は、どのように分析されたのか。

答 公務員倫理の欠如、単独対応による危機管理の甘さ、点検事務の形骸化、隠蔽思考が要因と分析した。

問 公金の取り扱い体制は確立できたか。

答 公金等取扱いマニュアルを策定した。全職員に周知して運用している。

問 現金の預かりと持ち運び、保管までの一連の流れは全て複数名で対応するの。

答 全て原則複数職員で対応すると定めている。

総務企画常任委員会

「(旧)十符の里プラザ跡地利活用方針に関する請願書」の審査

●プレイスデザインワークショップの開催状況を調査

(旧)十符の里プラザ跡地利活用の検討は、議会として、令和6年9月定例会で、事業の進行を留保し住民の声を聞く期間を置くことへの決議書を可決した経緯があります。町ではそのような状況も踏まえ、ワークショップを開催しました。この度、請願書が提出されたことから、ワークショップの開催状況を調査しました。毎回の参加者は30人程度で、ほとんどが町内在住者とのことです。これまで5回開催し、参加者の声から、利活用案が5パターン作成されました。6回目の開催時にワークショップの最終案をまとめるとのことでした。その後、ワークショップや利活用方針に係る町民への意見募集結果の内容を基に、外部有識者を交えた検討委員会などで検討を行っていききたいとの説明でした。



活発な意見が飛び交うワークショップの様子

企画部 所管事務調査 秘書政策課

右記の主な業務内容の説明を受けました。今後、所管している他の部の調査も行い、提言テーマを決定していきます。

●政策係

- ・利府町総合計画の見直し
- ・包括連携協定締結
- ・地域おこし協力隊支援業務

●秘書広報係

- ・儀式、栄典表彰
- ・こちら町長室
- ・広報業務

産業建設常任委員会

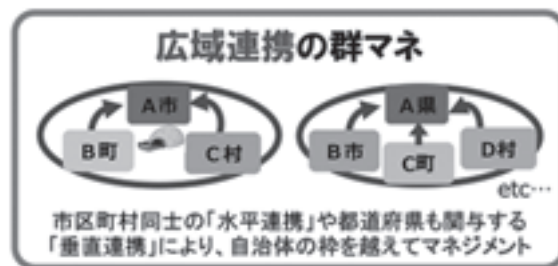
都市開発部・経済産業部・上下水道部 所管事務調査

各部から主な業務や事業内容の説明を受けました。今後、委員間で討議を行い、提言テーマを決定します。

●地域インフラ群再生戦略マネジメント(群マネ)

提言テーマを検討する委員間討議の中で、国が進めている「群マネ」が今後のまちづくりに必要になるのではないかと意見がありました。「群マネ」とは、自治体の技術系職員不足やインフラの老朽化に対応するため、複数自治体や複数分野のインフラをまとめて効率的に管理する手法で、国交省が推進しています。地方公共団体や関連事業者、学識経験者などが連携して、広域的な視点でインフラ維持管理の課題解決を目指す取り組みです。

利府町における公共インフラの維持管理は、人口減少に伴う財政制約と施設老朽化により、かつてない転換期にあります。従来の「施設ごと」の管理から脱却し、デジタル技術を用いて複数の施設を面で捉えて最適化する「群マネ」の導入は、これからのまちづくりに必要な取り組みであると考えます。今後、委員間での討議を引き続き行い、提言テーマを決定していきます。



「群マネ」の説明資料は国交省の「群マネの手引きVir.1」より

教育福祉常任委員会

各部から主な業務内容の説明を受けました。今後、委員間で討議を行い、提言テーマを決定します。説明を受けた内容から主なものを紹介します。

コミュニティ・スクール

教育部教育総務課からコミュニティ・スクール(学校運営制度)の説明を受けました。学校と地域住民が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」への転換を図るための有効な仕組みです。

利府第二小学校建替事業

令和6年度に4候補地から菅谷地区を移転候補地として選定しました。令和7年3月、神谷沢地区・菅谷地区を対象として住民説明会が実施されました。今後のスケジュールは以下のとおりです。

- ・令和10年 造成工事
- ・令和12年 建築工事
- ・令和14年 開校



「地域食堂」の取り組み

町では、令和7年度から地域食堂運営への支援を行っています。支援の必要性、町内の地域食堂の活動状況、今後の展開と期待する効果などの説明を受けました。町では地域食堂への支援を社会福祉協議会へ業務委託しています。主な内容は以下のとおりです。

- ・地域食堂の開設・運営に関する相談
- ・食料調達の相談、マッチング支援



世代を超えてつながる地域食堂の取り組み

議会活性化特別委員会

利府町議会基本条例の検証

議会の活性化と町民に開かれた議会、町民に借頼される議会づくりを進めるため、特別委員会を設置し、調査研究していきます。今後2年間で進める項目の整理を行い、ロードマップを作成しました。

●所管事項

利府町議会基本条例の検証

- (1) 条例5条関係 議員相互間の自由討議
- (2) 条例11条関係 政策等の形成過程等の説明要求のあり方
- (3) 条例15条関係 議会の機能強化のためのアドバイザーの活用
- (4) 議会業務継続計画行動基準策定
- (5) 条例21条関係 ハラスメント条例の策定
- (6) 予算、決算特別委員会等における審議方法
- (7) 議員選出監査委員制度
- (8) 条例3章関係 主権者教育の充実
- (9) 条例3章関係 ICT化推進状況の検証
- (10) 条例20条関係議員報酬、費用弁償
- (11) 議会の自立権



●令和8年6月までに進める事項と担当

- ・議員相互間の自由討議
期間：令和8年6月まで
担当：高木副委員長・小淵委員
 - ・ハラスメント条例の策定
 - ・政治倫理条例の改正
期間：令和8年6月まで
担当：羽川委員・金萬委員
 - ・議員報酬、費用弁償の見直し
期間：令和8年6月まで
担当：高木副委員長・小淵委員
- ※鈴木(晴)委員長は全体を担当します。

●令和9年6月までに進める事項

上記以外の事項を順次進めていきます。

AOYAMA地域食堂

lively activities
Vol.39
いきいき
活動

町内で活動している団体やサークルを紹介しています。
また、議会に対する意見もいただきました。

笑顔あふれる
楽しい居場所づくり



メンバーの熱い思いを形に

―活動のきっかけは―

「食を通して高齢者から子どもまで誰でも来られる居場所づくりをしたい」「自分たちの地域で何かできないか」というメンバーの熱い思いが形になり、令和7年4月から始まりました。



お料理はスタッフ総出で作ります

みんなで食べると楽しいと思える場所へ

今は核家族が多く、多世代の交流が非常に少ない時代です。ひとりで食事する子どもや高齢者も増えていると聞き、「みんなで食べると楽しい」

と思える場所になってほしいという願いから立ち上がりました。

多世代のボランティア

―活動メンバーは―

運営スタッフは5人です。開催日にはボランティアとして7から8人くらいの方が手伝いに来ています。大学生や高校生も手伝ってくれて、スタッフも多世代でとても賑やかで楽しいです。

大人から子どもまで楽しめる企画

―活動内容は―

青山3丁目集会所で毎月1回を目標に開催しています。夏休みなどに多く開催したので、12月ま



恒例の輪投げ大会

で12回開催しました。11時から受付が始まり、11時半頃から食事が始まります。食事が終わって落ち着いた頃、お楽しみ企画の歌やゲームで盛り上がりします。最近は大人数の子どももみんなで楽しむ「輪投げ大会」がブームです。

口コミで参加者増加中



みんな思わず笑顔になるおいしさ

―参加人数は―

初めは30人くらいを想定していましたが、口コミで少しずつ増えてきて、50人くらいになることもあります。集会所で人数が限られるため、子どもは青山小学校限定ですが、大人は多方面から来ています。

季節を取り入れた一品

―毎回のメニューはどのように決めていますか。―

季節を取り入れたメニューを大事にしています。また、食材の寄付や、フードバンクから提供のあった食材を活かし、メニューを考えています。



サラダの盛り付けも素敵です

家族全員での参加も

―開催して嬉しかったことは。―

高齢者から子どもまで、世代を超えて楽しく交流しています。「次は近所のお友達を連れてくるね」とお声がけをいただくことが多くなりました。赤ちゃんを連れてご家族も参加してくれるようになり、皆さんから「とっ

ても楽しい!」との言葉をいただき私たちも嬉し
いです。

町内に広がってほしい

―今後の展望は。―

利府町は転入者も多いので、繋がるきっかけづくりの場としても提供できたら嬉しいです。

町でも地域食堂を開催する団体が少しずつ増えて来ました。いつかは町内各所に広がるようサポートもしていきたいです。まずは私たちが継続して開催できるよう、議会からも後押しをお願いします。



好きな食材をそれぞれが取り分けます

みんなでワイワイ! 楽しく過ごす居場所です!

このような居場所
作りが町内に
広がると
うれしいです!



心を込めて
お料理しています!
みんなの笑顔が
うれしいです!

おいしい!楽しい!
食堂です!
みんなきてね



いろんな年代が
集まってわいわい!
スタッフも
楽しんでいます!



地域 みんなで
あったかいごはん!
素敵な空間です



私も1か月に
一回の食堂が
とても
楽しみです!



赤ちゃんも
子どもも大人も
みんな仲良く
楽しい時間です



第45回・46回文部科学大臣杯
少年少女囲碁大会
小学生の部 ベスト8



しが たに そう し
渋谷 宗志 さん 12歳
(利府第二小学校6年)

声
VOICE



頭脳フル回転！目指せ未来の名人！

PRINTED WITH
SOY INK
環境に優しい大豆インキを
使用しています

インタビューテーマ

「町の鳳雛インタビュー」

2大会続けてのベスト8、おめでとうございます！囲碁を始めたきっかけはなんですか？



6歳の時に利府町文化祭で囲碁のことを知って、「囲碁って面白そうだなあ」と思った事がきっかけです。

囲碁の魅力を教えてください。



囲碁は盤上のどこにでも自由に石を置くことが出来るので、戦略の幅がとて広くて面白いです。

囲碁を続ける中で頑張ったことや大変だったことはありますか。



詰め碁の問題をたくさん解いています。難しい問題は解くまで何日もかかることがあります。先を読む力を鍛えています。スランプで悩む時もありますが、囲碁が好きなので努力を続けることができます。

将来の目標や夢を教えてください。



囲碁の大会で全国優勝して、将来はプロ棋士になりたいです。

一局一局を楽しみながら強くなって下さい！全力で応援しています。利府町はどんな町になってほしいですか。



子どもたちが夢を叶えやすい町になってほしいです。スポーツのまちだけでなく、囲碁を含めた文化芸術のまちにもなってほしいです。

選挙や政治に対してどう思いますか？



学校で選挙の出前授業を受けて、いろいろ知りました。18歳になったら投票に行ってみたいと思いました。

鳳雛とは：将来すぐれた人物になることが期待される子どものこと。

発行 利府町議会

編集・発行責任者／議長 永野 渉

編集/議会広報常任委員会

委員長 鈴木 晴子	副委員長 金萬 文雄
委員 高久 時男	小淵洋一郎 高木 綾子
阿部 彦忠	郷右近佑悟

〒981-0112 宮城県宮城郡利府町利府字新並松4番地
TEL:022-767-2127 FAX:022-767-2110

この議会だよりは1万4800部作成し、1部あたりの印刷製本費は約29円です。



利府町議会のホームページ
もご覧ください

みんなの議会 傍聴しませんか

次の定例会は、**3月2日(月)から3月13日(金)**を予定しています。

議会からのお願い

取材のため、腕章を着用した議員が写真撮影に伺うことがあります。ご協力をお願いいたします。